

議会だより

2016年

平成28年2月

No.186



新年ファンタジック花火

1月1日午前0時、飯生神社において年越しと同時に約200発の花火が打ち上がり、新しい年の幕開けが盛大にお祝いされました。

写真提供／小泉写真館

第4回定例会のあらまし	2～3P
町政を問う	5議員が登壇
一般質問	4～10P
議会運営状況、議員の出席簿	11P
委員会活動	12～13P
議会のうごき	14P



おしゃまんべ

平成27年

第 4 回

定 例 会



条 例

平成27年第4回定例会は、12月10日から15日までの6日間の会期で開かれました。

【12月10日】

木幡町長から行政報告を行い、その後、条例の一部改正や補正予算などの審議をし、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を行いました。

【12月15日】

一般質問に5人の議員が登壇し、町政に対しての所信を質しました。

慎重に審議した結果、提案された議案すべてを原案のとおり可決し、閉会しました。

ことから制定するものです。

○行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、自治体の同一執行機関内における複数の事務間で特定個人情報情報を移転し、個人番号を利用する場合、その利用で定める事務の範囲を条例で定める必要がある

○町税条例等の一部を改正する条例

①番号利用法施行に伴い、法人番号が付与されたことに伴う一部改正です。

②国税徴収法等が改正されたことに伴い、地方税における猶予制度について、地方分権を推進する観点から一定の事項を条例で定めるための一部改正です。

○過疎地域自立促進特別措置法の適用に伴う固定資産税の免除に関する条例の一部を改正する条例

過疎地域自立促進特別措置法の一部改正に伴い、平成33年3月31日まで同法が期間延長されたことに伴う一部改正です。

○国民健康保険条例の一部を改正する条例

①国民健康保険制度の適正な運営を図るため、課税限度額の引き上げに伴う一部改正です。

②減免申請に個人番号が追加されたことに伴う一部改正です。

○平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれに90万4000円を追加し、予算総額は11億1216

補正予算

○介護保険条例の一部を改正する条例
介護保険料の徴収猶予及び減免の申請に個人番号が追加されることを踏まえ、所要の改正を行うものです。

○平成27年度一般会計補正予算(第6号、第7号)

歳入歳出それぞれに6177万6000円を追加し、予算総額は46億7667万8000円となりました。

歳入のおもな補正は、道支出金や繰入金などの追加、歳出は、認知症高齢者グループホーム整備事業補助金や国保会計への繰入金などの追加です。

○平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれに90万4000円を追加し、予算総額は11億1216

万9000円となりました。

○平成27年度ガス事業会計補正予算(第1号)
歳入歳出それぞれに4万円を追加し、予算総額は1億1935万円となりました。

○平成27年度水道事業会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれに5万4000円を追加し、予算総額は1億6779万8000円となりました。

○平成27年度病院事業会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれに24万4000円を追加し、予算総額は6億5608万3000円となりました。

その他

○権利の放棄について
平成17年のゴルフ場関連賃貸料等請求事件判決の当該債権の消滅時効における10年の時効期間の

経過により、裁判手続による執行の方法を利用することが事実上できず収納が困難であるため、次の債権を放棄するものです。

(放棄する債権)

①土地賃借料

726万5335円

②ゴルフ場内池埋立費用600万円

(債務者)

ステータスゴルフクラブ

ブ有有限会社取締役 廣海光一

ステータス株式会社代表取締役 松本健嗣

○選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

平成28年1月16日をもって任期満了となる選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が行われ、次の方々が当選しました。

選挙管理委員会委員

広澤範夫氏

堀江美知子氏

鹿島あつ子氏

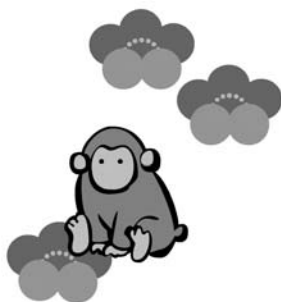
菅野慶一氏
同補充員

白鳥邦雄氏

五島史郎氏

笹村和志氏

森恭一氏



傍聴席から



長万部町役場総務課勤務

梨木 陽介さん

今回、「若手職員の議会傍聴」として12月定例会の一般質問を傍聴しました。議会事務局の仕事を手伝ったこともあり、議会の流れや雰囲気は知っていましたが、傍聴席から見る議会はそれとは違いとても新鮮に感じました。

一般質問は、防災・地方創生などについてありましたが、通告書にない再質問についても特別職・管理職の迅速な議会対応を見ることができました。

今回、議会を傍聴して、特別職・管理職のように自分の仕事でも迅速な対応ができるように頑張りたいと思いました。

傍聴お待ちしております。次の定例会は3月です。

冬の地震の備えは

備蓄の必要性、防災意識の高揚に努める



大谷 敏弥 議員

定例会2日目、5人の議員より
一般質問が行われました。その
内容を要約してお知らせします。

大谷 いつどこで発生
するかわからない大地震。
厳冬の道内で被災すれ
ば、過酷な避難生活が予
想される。その中で最優
先すべき課題の1つは、
防寒対策だ。冬の地震の
備えについて、次の点に
ついて伺う。

1点目、真冬の北海道
で、ライフラインが断た
れた場合の防寒対策はな
されているか。

2点目、防寒用品だけ
ではなく、冬も救援や支
援が届かない事も想定し、
最初の三日間程度の飲食
料品など備えているか。

町長 1点目、災害時
の備蓄品として年次計画
により毛布や敷マットを
購入しており、本年11月
末現在、毛布1690枚、

マット1140枚を備蓄
している。

また、避難所における
対策として、リース会社
や石油業協同組合等との
応援協定により、緊急時
には優先的に各種機器や
燃料等の供給を受けられ
る事となっている。

2点目、現在は食料備
蓄はないが、給水対策と
して20リットルタンク1
00個、6リットルの袋
3400枚を確保してい
る。

非常時には、飲料水メ
ーカーやコンビニ等との
応援協定に基づく商品の
提供や、北渡島・檜山北
部4町による相互応援協
定に基づく食料品・飲料
水や生活必需品の提供な
ど、各種協定を有効に活

用しながら、今後、食料
品の備蓄についても検討
する。

また、避難訓練や各種
講演会などを通じ、引き
続き各家庭における備蓄
の必要性など、防災意識
の高揚に努めたい。

大谷 1点目、リース

会社等と協定しているよ
うだが、道路の寸断や停
電が起きたら、機器や燃
料の供給は遅くなる。ど
この避難所も電気で稼働
する設備が多く、停電時
には厳しい寒さに耐えな
ければならない可能性も
ある。その点、石油スト
ーブは停電時でも暖を取
れ、煮炊きもでき便利だ。
避難所に数台石油ストー
ブを保管してはどうか。

2点目、物資がすぐに
供給されない事も想定し、
最低限3日間程度の飲食
料品があれば、町民の被
害は最小限に抑えられる
と思うが。

町長 1点目のポータ



備蓄中の毛布

ブルストーブは、灯油を
入れておくと灯油が劣化
してしまう。着火装置も
電池が入ったままでは腐
食する。リース会社との
協定により、緊急対応で
きるものと確信しており、
ポータブルストーブの用
意は考えていない。

2点目の飲食料品には
賞味期限があり、大量備
蓄は無理である。

例えば、それを按分し
て何分の一かずつ備蓄し、
賞味期限が近づいた飲食
料品を避難訓練時に参加
者に配付するなど、そう
いった事も考えながら進
めたい。

移住定住の促進について

理科大や葛飾区と協力し 移住促進に繋がりたい



高森 功治 議員

高森 平成27年10月、本町の地方版総合戦略が策定され、その中に、移住定住の促進をはかるという項目があり、「地域おこし協力隊の活用と定住化の促進」とある。

具体的にどのような地域おこし策をするのか、また、移住定住を促進するため、どのような施策を実行するのか。

町長 地域おこし協力隊の業務内容は、観光・商工・農業分野を想定しており、観光協会勤務による観光事業の推進や宣伝、商工会事務局勤務による商工事業の推進や宣伝、また、農業支援員として、理科大との連携によるアグリビジネス事業や6次産業化支援なども含め、各種農業振興支援に従事する。

移住定住を促進するため、空き家バンクや移住ナビの整備など情報発信の強化、無農薬実践農場



北海道新規就農フェア（東京）

と連携した移住者の受け皿づくりやPR活動を推進する。また、地域おこし協力隊員自身の定住や、先進的アグリビジネス事業の展開などで、将来的には農業法人設立による雇用の創出を目指し、都市部からの移住定住に結びつけたい。

高森 協力隊員は何名の公募を予定しているか、また、公募のプロセスとこれからどんな段取りを踏み、協力隊事業を成功させようとしているか。

町長 協力隊員は5名ほどの公募予定である。プロセスとして、北海道観光まちづくりセンターと連携して募集を進め、4月1日を目途に受け入れたい。

現在、協力隊員として他町で活躍されている方に、長万部町での受け皿づくりをどのようにするか、スムーズに仕事をするための体制づくりはどうしたらよいか話を伺ったところ、長万部町に来る協力隊員と、他町の協力隊員との連携、お互いの心のケアも含めた連携を進めていくと成功に導かれると伺った。また、生活をきちんと支えてあげる必要もあるとの事であった。協力隊員を迎える町民の気持ちも大事だと思っている。協力隊員は、長万部町のために、自分達がここに定住するという気持ちを持って来ていただけると確信して

いる。

高森 理科大や葛飾区と協力して移住の促進に繋がりたいとあるが、具体的に。

町長 先日、東京と札幌で新規就農フェアを開催したところ、長万部ブースには28組34名が相談に見えた。他ブースよりも多くの相談者が訪れたとの事で、長万部町に魅力を感じている方がいるのだと思う。

今後も、葛飾区との交流、民間交流も含めて進めたい。そのためには、移住定住事業の受け皿として住環境の整備が一番肝心であるので、これからその辺りを整理して進めたい。



鉄鋼スラグの対応について

今後、注意して見ていきたい



辻 紀樹 議員

辻 平成26年4月、富

野地区の町有地に新幹線
関連工場が建設され、土
木資材として鉄鋼スラグ
が大量に使用されたと聞
いている。鉄鋼スラグに
は不純物が含まれ、近年
土壌汚染が問題となっ
ている。

現在、工場建設に使用
された鉄鋼スラグによる
土壌汚染はないが、将来
土壌汚染が発生する可
能性も、また、発生し
ない可能性もある。

国は環境面での優位性
などから、グリーン購入
法により循環資源として
多く利用し、また北海
道は「北海道リサイクル
製品認定制度」を平成
16年12月創設し、利
用を勧めている。

以上の事を踏まえ、次
の2点について質問す
る。
1、使用された鉄鋼ス
ラグの量は。

2、工場撤退後の鉄
鋼スラグの取り扱い

町長 1点目、使用し

た鉄鋼スラグの量は、株
式会社鉄建からのデー
タによると1万2006ト
ンである。

2点目、工場が撤退し
た場合の鉄鋼スラグ路盤
材等の取り扱いは、町有
財産賃貸借契約書の中
で「契約期間満了のとき
は現状に復して返還す
る」との規定があるが、
その後の土地の使用状況
を勘案しながら、当該
業者とそれらの対応を
協議する。

辻 「現状に復して返

還する」という文言があ
る。私も鉄鋼スラグにつ
いて色々調べたが、最近
の物は不純物がかなり除
去され、製品としてより
良くなっていることは間
違いない。ただ、リサイ
クル製品なので、使用中
止になった場合は、当然
安定型なり管理型の施設
に産業廃棄物として排出
されるのかな。当然、
設置業者がやるだろうと

所管事務調査

(委員会が受け持っている調査内容)

第1回定例会（3月）までの各常任委員会、
議会運営委員会の所管事務等調査事項を次のと
おり決めました。

《総務常任委員会》

- ・ガス事業
- ・給食センターの運営状況
- ・いじめ防止対策

《産業建設常任委員会》

- ・農業振興
- ・商工観光振興
- ・除雪事業

《議会運営委員会》

- ・議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項

認識は町と一致している

その時期が、10年後15
年後となると、ここに
いる人はほとんどこの場
にはいないと思う。これ
は難しい問題なので、す
ぐに解決とはならないだ
ろうが、将来に持ち越さ
ない形で、早めに協議し
結論を出していただきたい。

町長 使用中止という

事は、契約期間中に業者
が仕事を辞めて撤退する

これが使用中止という考
え方になるのかと思うの
で、途中で使用中止とい
う言葉には繋がらないと
思う。

今後、近隣住民に迷惑
が及ばない、そしてまた
不安を与えるような事が
起こらないよう注意して
見ていきたい。

地方創生事業の取組みについて

不退転の決意を持って 地方創生事業を進める

持って地方創生各種事業を進めたい。

一般質問に、職員を傍聴席に入れていた。そういう事も含め、今後も続けていきたい。

地方創生は、まだ始まったばかりである。来年、本格的な調査を始めて、アグリビジネス事業がスタートし、今年度内にもある程度の計画が見えてくるのかと考えてるので、協力をお願いしたい。

辻 平成27年9月5～6日、東京理科大学長万部校で開催された「長万部地方創生サミット」は、石破茂地方創生大臣をはじめ多くの方から地方創生について学び、理科大との連携、東京都葛飾区との交流事業など、多種多様な事業が提案された。

ダーとして、30年後50年後、子ども達や若者老人全ての人が住んで良かった、住みたいと思える長万部町を目指し、提案された事業に対しどの様な「覚悟」を持って取り組みられるのか伺う。

つてくれるという事ではなく、これからは我々町民がまちづくりの主役でなければならぬ。その事を忘れずに、自ら歩き出せるよう、町民一丸となって地方創生関連事業に全力を傾注する。

辻 町長がリーダーシップを発揮しながら職員に事業を理解してもらい、町民に聞かれた時、「担当じゃないから分からない。関係ない」という事ではなく、全部を知らないまでも、この事業はこうである位の認識を持つ事が必要だと思う。それが町民に対して、役場職員が一生懸命に取り組んでいるという話になり、理解度も広がりも早くなるのではないか。一番難しい問題だが、それが出来れば事業もより良い展開に向かっていくのでは。

辻 町長 地方創生戦略策定の段階でも、全職員にメールを流して情報を共有しており、ことあるごとに協力を求めている。また、議会や行政の動きもしっかりと見てもらいたいので、初日と今日の

この提案された事業や、新幹線を核としたまちづくり事業などに、積極的に取り組むことが今後さらに求められている。

町長 理科大と本町との連携したまちづくりや、新幹線を核としたまちづくりは、本町の重点戦略であり、地方創生という意味では、その期待度が大きい事業であると考えている。「覚悟」を決める事は、今後、地方創生に取り組んでいく上で必要不可欠な姿勢であると認識している。

町民の先頭に立ち、明るい未来のまちづくりに向かい、不退転の決意を

町長 地方創生戦略策定の段階でも、全職員にメールを流して情報を共有しており、ことあるごとに協力を求めている。また、議会や行政の動きもしっかりと見てもらいたいので、初日と今日の

町長 地方創生戦略策定の段階でも、全職員にメールを流して情報を共有しており、ことあるごとに協力を求めている。また、議会や行政の動きもしっかりと見てもらいたいので、初日と今日の

サミット最終日、理科大前理事長が、事業を最後までやり遂げるためには「覚悟」を決める事が一番必要だとして閉会した。

重要なのは、理科大などが町のために何かをや

町長 地方創生戦略策定の段階でも、全職員にメールを流して情報を共有しており、ことあるごとに協力を求めている。また、議会や行政の動きもしっかりと見てもらいたいので、初日と今日の

町長 地方創生戦略策定の段階でも、全職員にメールを流して情報を共有しており、ことあるごとに協力を求めている。また、議会や行政の動きもしっかりと見てもらいたいので、初日と今日の

町長 地方創生戦略策定の段階でも、全職員にメールを流して情報を共有しており、ことあるごとに協力を求めている。また、議会や行政の動きもしっかりと見てもらいたいので、初日と今日の

長万部町のトップリー

町長 地方創生戦略策定の段階でも、全職員にメールを流して情報を共有しており、ことあるごとに協力を求めている。また、議会や行政の動きもしっかりと見てもらいたいので、初日と今日の

町長 地方創生戦略策定の段階でも、全職員にメールを流して情報を共有しており、ことあるごとに協力を求めている。また、議会や行政の動きもしっかりと見てもらいたいので、初日と今日の

町長 地方創生戦略策定の段階でも、全職員にメールを流して情報を共有しており、ことあるごとに協力を求めている。また、議会や行政の動きもしっかりと見てもらいたいので、初日と今日の

町長 地方創生戦略策定の段階でも、全職員にメールを流して情報を共有しており、ことあるごとに協力を求めている。また、議会や行政の動きもしっかりと見てもらいたいので、初日と今日の



公共施設等の老朽化対策は

総合的・計画的な管理に関する 基本方針を策定する



長崎 厚 議員

長崎 スポーツセンターや福祉センターなど、公共施設の老朽化対策が全国で大きな課題となっており、厳しい財政状況の続くなか、公共施設全体の状況を把握し、長期的な視点により更新、統廃合、長寿命化等を計画的に行い、財政負担の軽減、平準化をし、公共施設等の最適な配置が必要であると国が求めている。

この事を踏まえ、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画「公共施設等総合管理計画」を策定し国へ提出しなければならない。

また、各地域会館の今後の扱いについて住民も大きな関心を持っており、計画の進捗状況、概略などを伺う。

町長 本町における公共施設や道路・橋りょう等インフラ施設についても、老朽化対策等が大きな課題であり、本年度か

ら公共施設等総合管理計画の策定を進めている。

本年度は、公共施設等のデータベース化や、更新費用の推計と施設のライフサイクルコストの予測、人口推計等による施設利用数の推計や財政推計を実施し、総合的な整理・分析による公共施設・インフラに関する現状報告書（白書）を作成する予定となっており、現在は公共施設等の洗い出し作業が完了し、コストの推計等を行っている段階である。

来年度は、現在作成中の白書に基づき、公共施設等の現状や課題を客観的に把握・分析するため、公共施設等の管理に関する基本方針の検討や、町民・職員アンケート等を実施し、各地域会館のあり方を含め、本町における公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針を策定する。

長崎 公共施設等の洗い出し作業は既に完了しているとの事だが、内容など示せるものはあるか。

総務課長 公共施設等総合管理計画は、来年3月22日を期限として委託事業を進めている。

結果がまとまり次第、議会に報告する。

長崎 計画作成にあたり、国による事前審査はあるのか。あるとしたら期日までに間に合うのか。

総務課長 国の事前審査は特にならない。

本年度作成される白書により全体状況を把握し、それに基づき新年度は類型別の計画等を策定しながら、今後進めるべき町の全体像の取りまとめをする。

長崎 公共施設等総合管理計画とインフラ長寿命化計画は、別々に計画



老朽化が進む公共施設

策定しなければならないのか。

総務課長 流れとしては、一番上に公共施設等総合管理計画があり、その下に橋梁の長寿命化計画などの個別計画がある。

長崎 この計画は10年20年など、どのくらいのスパンで計画の結果を出すのか。

総務課長 国からは、少なくとも10年以上のスパンを考えた計画を策定するよう指導がある。

長万部町の財産である

温泉による活性化を

この事業は町が事業主体となれない

長崎 平成27年3月、

長万部温泉60周年記念事業で、日本で初めて温泉学の分野を切り開いた第一人者であり、文学博士、医学博士としても活躍している松田忠徳札幌国際大学教授の講演が行われ、木幡町長はじめ道内外の方々が出席された。

教授は、温泉の科学的価値はその還元力にあるとしており、予防医学を



長万部温泉発祥之地記念碑

通じて温泉街や商店街の新たな活性化を願う自治体からの要請で、週に2回3ヶ月のあいだ温泉に入浴し、その還元力を検証する事業等を実施している。その事業には国の補助金もあり、道内外で実施されている。

長万部温泉を活用しながら、商店街の活性化と観光振興など、新幹線を核としたまちづくり対策

の集客手段としても、経済効果を望める有効な政策と思うが、町長の考えを伺う。

町長 松田先生の講演

では、「源泉かけ流し」による長万部温泉の還元力が、非常にレベルの高いものであり、予防医学の視点からも非常に優れていることから、温泉資源を活用して地域の健康度を向上することにより、長万部温泉の信頼が高まり、地元の商工観光振興に繋がるという趣旨のお話があり、長万部温泉の効能のすばらしさを改めて認識した。

還元力を検証する事業等については、寿都町でのモニター調査による実証報告もあったが、この

事業は、全国商工会連合会が公募する「小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業」であり、

地域の小規模事業者が、地域資源を活用して新たな特産品開発や観光開発を行う取り組みなどを総合的に支援するもので、商工会が実施機関でなければ補助は受けられない。長万部町が事業主体となつての実施はできないので、長万部温泉街の活性化や集客効果を高めるためにも、長万部温泉利用協同組合が積極的な役割を担って、長万部温泉利用協同組合の事務局であり、実施機関となる長万部商工会と相談・協議していただき、実施の可能性について検討していただきたい。

長崎 長万部町も商工

会や長万部温泉利用組合と協力し、この事業を牽引すれば、活性化すると思う。積極的に町からも

進言助言などしていただきたいと思うが。

町長 松田先生からは、全国26箇所ある掛け流し温泉指定を長万部町も取られたらどうかと言われた。また、この効能素晴らしい資源は町民に還元した方がいいとの進言もいただいたので、敬老会の挨拶などで、ぜひ長万部温泉に入つて長生きをしてほしい、1週間に2回ほど長万部温泉に入ると、予防医学の見地からも素晴らしい温泉であると伝えていく。

温泉利用組合が一丸となりこの事業を推奨するのであれば、事業主体となる商工会が前向きに進めてほしい。事業主体がその意識を持ち、事業を遂行していくという基本姿勢がなければ、協力できるような態勢にはならないので、温泉利用組合と商工会で十分話し合っていたいただきたい。

新幹線を核とした まちづくり計画を問う



柏倉恵里子 議員

全町一丸となって取り組み 本町の発展を目指したい

柏倉 長万部町においても、来年の3月までには新幹線を核としたまちづくり計画を作らなければならず、あまり余裕がない状態である。今後のタイムスケジュールは。

町長 「新幹線を核としたまちづくり実行計画」は、これまでに本町の現況や課題等の整理、住民等へのアンケート調査を実施しており、これらに基づき計画の基本目標等を定めたことから、平成27年12月7日に第1回目の役場庁内プロジェクトチーム会議、12月9日に計画策定協議会を開催した。今後は、1月中旬の第2回協議会、1月下旬の第3回協議会に案を示し、2月に意見照会等を実施し、3月中旬の第4回策定協議会に諮り決定する予定である。

柏倉 駅舎の位置や駐車場、駅前ロータリーな

どの決定はいつ頃か。

町長 駅舎位置等の決定は、実行計画で乗降客数の推計を行っており、それに基づき、1月下旬には駅舎や駅前広場等のイメージパス（※完成予想図）を作成する予定である。

また、来年度予定している「（仮称）新幹線新駅周辺整備計画」で交通量推計等を行いながら、駅舎等により詳細な基本計画を策定したい。

今後はこれらの計画に基づき、国や道、JR北海道等と協議の上、駅舎位置や規模等について決定される事になる。

柏倉 新幹線新函館北斗駅開業に向けた我が町の取り組みは。

町長 新函館北斗駅開業に向けた気運の醸成や、本町PRのため「おしゃまんべ毛がにまつり」や、理科大葛飾キャンパスでの「ホームカミングデー」

等のイベントにおける新幹線開業PR活動を行っており、また、12月19日には、北海道新幹線建設促進長万部町期成会主催の「開業100日前カウントダウンイベント」が開催された。

地域連携の取り組みとして、八雲町、今金町、せたな町及び本町で構成される「北渡島檜山4町地域連携推進協議会」において、開業を見据えた「食」観光分野での連携取り組みを実施する。

柏倉 役場庁内にプロジェクトチームが立ち上がったようだが、縦割り行政ではなく、職員が一丸となってこの事業を推進していく必要があると思うが。

町長 役場庁内プロジェクトチームは、実行計画策定にあたり町民等と構成される策定協議会と連携し、計画原案作成や事業の選定、計画策定後



開業100日前イベント

の検証や改善を実施し、この計画が効果的・効率的に策定及び運用されることを目的として設置している。

また、実行計画は新幹線開業を見据え、ハード・ソフト両面で取り組むべきまちづくりの計画であり、地方創生の総合戦略とも密接に関わってくる事から、職員はもちろん全町一丸となって取り組み、本町の発展を目指すべきと考えている。

● 平成27年中の議会運営状況 ●

● 定例会

区分	会 期		会議 日数	町長・議員提出議案						請願 陳情	意見書 決 議	合計	一般質問	
	日 程	日数		条例	予算	決算	専決	人事	その他				人数	件数
第1回	3月5日～13日	9日	3日	13件	17件	－件	1件	1件	1件	－件	－件	33件	7人	12件
第2回	6月16日～22日	7日	2日	1件	2件	－件	1件	－件	2件	－件	3件	9件	7人	11件
第3回	9月10日～18日	9日	3日	2件	6件	8件	－件	2件	5件	－件	2件	25件	6人	7件
第4回	12月10日～15日	6日	2日	5件	6件	－件	－件	1件	1件	－件	－件	13件	5人	7件

● 臨時会

区分	会 期		会議 日数	町長・議員提出議案						請願 陳情	意見書 決 議	合計
	日 程	日数		条例	予算	決算	専決	人事	その他			
第1回	1月26日	1日	1日	－件	1件	－件	1件	－件	－件	－件	－件	2件
第2回	5月12日	1日	1日	－件	1件	－件	3件	3件	1件	－件	－件	8件
第3回	11月6日	1日	1日	－件	1件	－件	－件	－件	－件	－件	－件	1件

● 議員の出席簿 ●

平成27年10月～平成28年1月

会 議 名	開催日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		北 川	長 崎	辻 (紀)	高 森	橋 本	大 谷	村 川	角	柏 倉	辻 (義)
第3回臨時会	11月6日	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第4回定例会	12月10日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全 員 協 議 会	11月2日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12月7日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務常任委員会	10月30日	○	○	○	○	○	－	－	－	○	○
	11月30日	○	○	○	○	○	－	－	－	○	○
	12月10日	○	○	○	○	○	－	－	－	○	○
産業建設常任委員会	11月16日	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○
	12月7日	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会	11月2日	－	○	○	○	○	○	－	○	○	○
	12月7日	－	○	○	○	○	○	－	○	○	○
	12月15日	－	○	○	○	○	○	－	○	○	○
議会広報編集 特別委員会	10月16日	－	－	○	○	－	－	○	×	－	○
	12月15日	－	－	○	○	－	－	○	○	－	○
	1月15日	－	－	○	○	－	－	○	×	－	－
議会改革等に関する 調査特別委員会	10月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
まちづくり・新幹線 調査特別委員会	10月5日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11月2日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11月20日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○（出席） ×（欠席） －（出席対象外）

総務常任委員会

10月30日

①学校教育

各小中学校の学校経営等について調査（現地調査）



②防災対策事業

町営スキー場横避難階段について調査（現地調査）



11月30日

①ガス事業

ガス料金改定スケジュール、ガス事業会計収支状況について調査

②所管事務調査

第1回定例会までの所管事務調査を協議

12月10日

①所管事務調査

第1回定例会までの所管事務調査を協議

委員会活動

産業建設常任委員会

11月16日

①林業振興

町有林一般造林事業について調査（現地調査）



②漁業振興

水産廃棄物リサイクル施設の運営状況について調査

12月7日

①公園事業

公園事業について調査

②所管事務調査

第1回定例会までの所管事務調査を協議

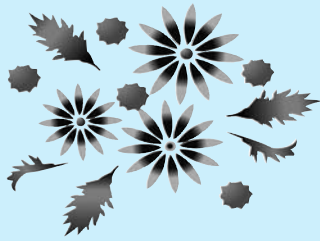
議会広報編集特別委員会

12月15日

①議会だより第186号の編集について協議

1月15日

①議会だより第186号を編集



議会運営委員会

11月2日

- ①第3回臨時会の運営について協議

12月7日

- ①第4回定例会の会期及び日程、提出される議案などの取り扱い、第1回定例会までの所管事務調査を協議
- ②平成27年度議会費補正予算について審査

12月15日

- ①第4回定例会の運営について協議

議会改革等に関する調査特別委員会

10月30日

- ①議会改革等に関する調査
議会活動の周知広報について協議

11月30日

- ①議会改革等に関する調査
意見書の取り扱いについて協議

12月15日

- ①議会改革等に関する調査
意見書の取り扱い、今後の検討事項について協議

まちづくり・新幹線調査特別委員会

11月2日

- ①まちづくり・新幹線等に関する調査
長万部町人口ビジョン及び長万部町創生総合戦略の策定について審査、東京理科大学表敬訪問及び北陸新幹線視察調査について協議

11月18日

- ①まちづくり・新幹線等に関する調査
東京理科大学表敬訪問（葛飾キャンパス・神楽坂キャンパス）



11月19日

- ①まちづくり・新幹線等に関する調査
北陸新幹線視察調査（JR飯山駅、JR糸魚川駅視察）



11月20日

- ①まちづくり・新幹線等に関する調査
北陸新幹線視察調査（JR金沢駅視察）

議会のうごき

10 月

1 日 八雲町開町10年記念式典(八雲町)
議長

13 日 渡島管内市町議会議員研修会
(北斗市) 各議員

18 日 地域医療セミナー(八雲町)
各議員

11 月

6 日 第3回臨時会 全議員

9 日 道南林活議連総会及び研修会
(七飯町) 各議員

9～10 日 渡島町村議会議長会行政視察
(鹿児島県、熊本県) 議長

11 日 町村議会議長会全国大会(東京)
議長

18 日 東京理科大学表敬訪問(東京)
全議員

12 月

10 日 第4回定例会 全議員

15 日 第4回定例会 全議員

19 日 北海道新幹線開業100日前カウン
トダウンイベント 各議員

1 月

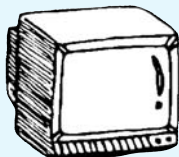
5 日 消防出初式 全議員

6 日 新年交礼会 全議員

10 日 成人式 全議員

議場のテレビ放映

役場1階ロビーで定例会、
臨時会の模様を放映して
います。



議会を傍聴してみませんか

次の定例会は3月です



この広報紙は
再生紙を使っ
ています。

お願い

議長宛ての案内などの文書は、
議会事務局へ送付ください。

委員会も署名するだけで
傍聴することができます



新しい年もひ
と月が過ぎ、
いよいよ、来
月には永年の
夢でありました新幹線が
北海道に渡ります。札幌
までの延伸は15年後の計
画ですが、すでにトンネ
ル掘削工事は始まってお
り、新幹線を核としたま
ちづくりも現実味を帯び
てきました。

昨年末に策定された地
方創生総合戦略は、すで
に実施に移されており
「地域おこし協力隊」の
募集もしています。隊員
の皆さんには、それぞ
れの分野で活躍してい
ただくことを望んでい
ます。

議員一同、各戦略の成
功に向け、しっかりと協
力体制をとっていく覚悟
です。

議会広報編集特別委員会

委員長 高森 功治
副委員長 辻 紀樹
委員 村川 健

”

角

健